

《2010 活動スローガン》



みんなの思いをひとつに広範な人々とのネット

ワークの力で安心・共生の福祉社会づくりを！

総会決議

世界的な新自由主義・市場原理主義による規制緩和・構造改革の推進は、わが国の経済・社会においても、失業率の上昇や自殺者の増加等をはじめ、人間の営みにおける経済的・社会的な格差問題を引き起こし、将来への不安を増大させており、今、地域社会では、都市・農村を問わず、人間の「絆」の希薄化が進む中で、生活に対する不安が増大し、生活・雇用の安定、医療・福祉の充実をはじめ将来に対する「安心して豊かに暮らせる地域社会」への要望が高まってきていると言えます。

昨年八月の総選挙において、戦後初めての国民主権である選挙権による政権交代がありました。国民は「自分の一票で政治を変えることができる」「歴史を動かすことができる」ことを実感しました。

しかし一方では、投票や市民運動などを通してではなく、「お買い物」を通じた社会変革を実現する「消費者市民社会」確立に向けて、消費者・生活者による行動に期待が寄せられています。生協が、こうした「消費者市民社会」をリードすべきであるということは言うまでもないことです。

こうした時代にあつては、市場や国家のみに頼るのではなく、私たち生協や連帯・協同セクターは、国民の暮らしを支え、社会改革の担い手として重要な役割を果たしていくとともに、広範な人々とのネットワークの力を結集し、国民の共感を呼ぶ社会運動や事業・地域に根ざした顔の見える活動を展開していくことが必要です。

これまでの運動に自信をもって、みんなの思いをひとつにし、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向かって確実な一歩を踏み出しましょう。

- 一、福島県消費者ネットワークの力で地方消費者行政の充実強化を目指します。
- 二、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会の活動を通し、農林水産業への関心を高め、支援をすすめて、食料自給率向上を目指します。
- 三、県労協の活動に結集し、県行政や県議会との関係づくり強化や政策提言能力の向上を目指します。

右、決議いたします。二〇一〇年五月二十六日

福島県生活協同組合連合会第三十回通常総会